

後期人権同和教育旬間 校長講話 「一秒の言葉」

(H30.11.5)

上田市立塩田中学校 田畑卓朗

今日の校長講話は、いつもの絵本ではありません。絵本を期待していた皆さん、ごめんなさい。絵本は次回にとっておきたいと思います。

今日は「一秒の言葉」というお話をします。先日、うれしいメールをいただきました。

塩田中学校の先生方、突然のメール、大変失礼致します。私、東京都在住のAと申します。

先月六日から一泊で別所温泉に旅行しました。その際、無言館にも足を運びました。塩田町駅近くで、貴学の生徒さんが、見ず知らずの私にも「こんにちは！」ととても気持ち良い挨拶をして下さいました。部活帰りで疲れていても爽やかな挨拶をして自転車で行く姿がとても印象的でした。上田の塩田の人々の優しさや心意気を感じられた素敵な瞬間でした。

先生方や地域の方にしてみれば、大したことではないかも知れませんが、しかし私のように都会の人間関係の希薄な場所に長いる人間してみると、皆様の当たり前はとても尊いものだと感じられます。澄んだ気持ちの人々が住む穏やかな場所。（中略）

貴学の生徒さんのような澄んだ優しい気持ちを持った若者こそが、無言館の彼らの気持ちを受け継ぐべきだと思います。（以下略）

- ・ 東京に住むAさん。別所温泉に旅行にきた。無言館を見学し、中塩田町駅へ
- ・ 塩田中学校の生徒から「こんにちは」と声をかけられる。
- ・ 部活帰りで疲れていても爽やかな挨拶をして自転車で行く姿がとても印象的
- ・ みなさんにとっては当たり前かもしれないが、人間関係の希薄な東京に住む私たちにとっては、とても尊いもの。澄んだ気持ちの人々が住む穏やかな場所

たった一言のあいさつで、これだけ人の心を動かす。「たった一秒の言葉」

一秒の言葉 小泉吉宏

「はじめまして」 この一秒ほどの短い言葉に、一生のときめきを感じることもある。

「ありがとう」 この一秒ほどの短い言葉に、人のやさしさを知ることがある。

「がんばって」 この一秒ほどの短い言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」 この一秒ほどの短い言葉で、幸せにあふれることがある。

「ごめんなさい」 この一秒ほどの短い言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」 この一秒ほどの短い言葉が、一生の別れになることがある。

一秒に喜び、一秒に泣く。一生懸命、一秒。人は生きる。

でも、時には一秒の言葉に、泣く・傷つく。皆さんには、どんな経験がありますか。

私は……。私の子どもは……。

うれしくなる言葉 元気の出る言葉、あったかくなる言葉、悲しくなってしまう言葉、切なくなってしまう言葉。たった「一秒の言葉」にも心がある

今日から、後期人権同和教育旬間が始まります。「いじめや差別が悪い」みんなそう思っている。でも、私たちのまわりで起きている。なぜだろう。今回の旬間を通して考えて欲しいと思います。

テレビのドラマの中のいじめを見て、ひどいと思うのに、テレビの中のドラマと同じことを友だちにしていませんか？自分の言動を客観的に見返してみたいと思います。